



当社は、HS財団の動物実験第三者認証施設です

第 67号

2013年（平成25年）4月1日（業務企画部発行）

株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

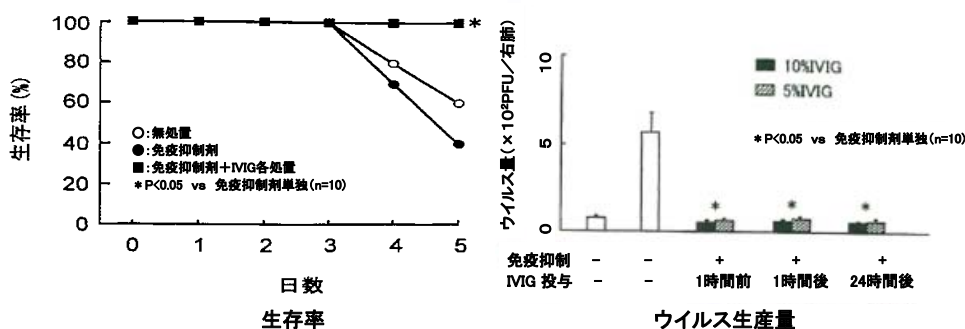
〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

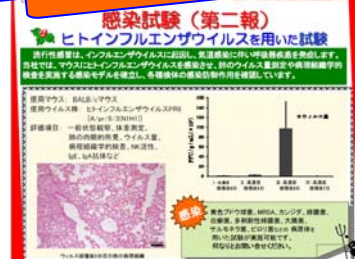
URL : http://www.nbr.co.jp/

## 易感染モデルを用いた感染実験のご紹介

感染実験では、試験の目的に合わせた「易感染モデル」を用いる試験が多くあります。正常動物では細菌やウイルスなどの病原体が感染し難いため、免疫抑制剤などを投与した後に病原体を感染させる易感染モデルを作製して、各種検体の感染に対する予防効果試験あるいは治療効果試験を実施します。また、安全性の分野では、免疫毒性試験の一つとして易感染モデルを利用した宿主抵抗性試験を実施しています。



インフルエンザ感染試験 (第51号)は当社ホームページでご覧になれます



プレドニゾロンで処理した免疫抑制マウスにインフルエンザウイルスを感染させたモデルを用いた免疫グロブリン製剤による感染防御効果の確認(角田秀信 他. 薬理と臨床、22(3)、161~168、2012:より抜粋)

### お知らせ

第87回日本感染症学会学術講演会・第61回日本化学療法学会総会

合同学会(パシフィコ横浜)において、ポスター発表を致します。

会期:2013年6月5日(水曜日)・6日(木曜日)

演者:角田秀信 演題:モルモットを用いたヒトインフルエンザウイルス空気感染に対するクリスタルヴェール®マスク 抗菌24の感染防御効果

演者:佐久間隆介 演題:実験的インフルエンザウイルス感染に対する献血由来静注人免疫グロブリン(IVIG)の *in vitro* 及び *in vivo* 感染防御効果

### 佐部利 典彦の

アートギャラリー(67)

岐阜県出身(1969~)

タイトル: TIME

作者の言葉

これも中国で制作した作品です。時間や民族性がテーマです。希望するサイズのキャンバスがなかったため、数枚を組み合わせ一つ作品にすることにしました。

サイズ: 230cm × 90cm  
技法: 油彩



### 『心の絆 - その67 -』

春は三寒四温を繰り返し訪れるのが例年のパターンですが、今年、1月から3月までの気候は、厳寒や大雪の日があったと思うと、翌日は急転して夏日になるなど、この変化の大きさに体調がついていかなかった方もいらっしゃると思います。確かに、北海道や東北地方では豪雪被害が多発した一方で、各地で見られた桜の開花日の早さは理解し難いものでした。こうした気候ばかりでなく、政治、経済、社会においても「えー」と驚くような事件が次々と当たり前のように起こり、今の時代は何があっても不思議でない感じが年々増えています。こうした昨今の私たちを取り巻く事象を体験すると、つくづく「中庸の幸福」に気づかされます。私は関西人ですが、いろんな調子を聞かれた際の返答に「ぼちぼちですわ!」という言葉をよく用いますが、この心境と類似しています。行き過ぎてもいけないし、かと言って、不足であってもいけない中間の状態です。一日の生活の中で、朝、さわやかに目覚め、昼間は仕事に励み、夜は家族と楽しく団欒し就寝する。幸福とは、こんな一見、平凡と思われる日々の繰り返しの中にあるものだと思います。4月、小道には名も知らぬ雑草が一斉に花をつけます。こんな所にも中庸の幸福が息づいています。ご一緒に歩いてみませんか。「めでたさも 中位なり おらが春 :小林一茶」。